

～抗菌剤は慎重に使いましょう～

薬剤耐性菌とは？

薬剤耐性菌とは、「抗菌剤が効かない細菌」です。抗菌剤の使い過ぎなどにより増加し、人や動物の治療が困難になります。

薬剤耐性問題と畜産との関わりは？

抗菌剤は、畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。家畜への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物等を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。

どう対策すればいいの？

次の3つのポイントに取り組んで、抗菌剤の「慎重使用」を徹底することが重要です



感染症を予防する

飼養衛生管理の向上（施設内の洗浄・消毒、十分な飼養スペースの確保等）により、感染症を予防しましょう。

獣医師に伝える

獣医師が適切に診断できるよう、発病後の経過、措置の状況、過去の感染症の発生状況の情報を的確に獣医師に伝えましょう。

抗菌剤を正しく使用する

抗菌剤は獣医師からの指示に基づき、用法・用量、使用禁止期間等を守って正しく使用しましょう。

家畜に対する抗菌剤の有効性を維持するためには、畜産関係者が一体となって取り組む必要があります。

ご不明な点がございましたら以下までお問い合わせください。
中央家畜保健衛生所：電話番号058-201-0530



～抗菌剤は慎重に使いましょう～

薬剤耐性菌とは？

薬剤耐性菌とは、「抗菌剤が効かない細菌」です。抗菌剤の使い過ぎなどにより増加し、人や動物の治療が困難になります。

薬剤耐性問題と畜産との関わりは？

抗菌剤は、畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。家畜への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物等を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。

どう対策すればいいの？

次の3つのポイントに取り組んで、抗菌剤の「慎重使用」を徹底することが重要です



感染症を予防する

飼養衛生管理水準の向上（施設内の洗浄・消毒、十分な飼養スペースの確保等）について指導を行い、感染症を予防しましょう。

抗菌剤を正しく選択する

抗菌剤を使用する必要がある場合には、薬剤感受性試験の結果等を踏まえ、抗菌剤を正しく選択し、必要最小限で使用しましょう。

情報を共有する

農林水産省が公表する全国ベースの薬剤感受性の状況、地域における感染症の発生状況・薬剤感受性の情報等、薬剤耐性に関する情報を関係者間で共有しましょう。

家畜に対する抗菌剤の有効性を維持するためには、畜産関係者が一体となって取り組む必要があります。

ご不明な点がございましたら以下までお問い合わせください。
中央家畜保健衛生所：電話番号058-201-0530



～抗菌剤は慎重に使いましょう～

薬剤耐性菌とは？

薬剤耐性菌とは、「抗菌剤が効かない細菌」です。抗菌剤の使い過ぎなどにより増加し、人や動物の治療が困難になります。

薬剤耐性問題と動物分野との関わりは？

抗菌剤は、動物分野でも使用されており、家畜や愛玩動物の健康を守るために必要不可欠です。動物への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、動物の治療を困難にするだけでなく、動物から人に伝播し、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。

愛玩動物医療関係者が実施すべき対策は？

愛玩動物医療関係者の皆様には、薬剤耐性菌問題を理解し、抗菌剤の「慎重使用」に取り組むことが重要です。



1. 抗菌剤の使用を真に必要な場合に限定すること
2. 使用する場合は、感受性試験などにより、有効な抗菌剤を選択し必要最小限の使用とすること
3. フルオロキノロン等の第二次選択薬は第一次選択薬が無効の場合のみ使用すること

「抗菌剤を使用すると耐性菌が選択される」ことを常に意識し、慎重使用を徹底するようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら以下までお問い合わせください。
中央家畜保健衛生所：電話番号058-201-0530